

本日のメインプログラム

地域経済に関する会員卓話

大木会員

地域経済について

日本経済については、第2次安倍内閣発足以降（2012年12月）、アベノミクス効果により為替が円安となり株価も大幅に回復し、大手輸出企業を中心に業績回復も鮮明となり、賃上げが実施されるなど、日本経済は循環的な好転局面にあると思われます。

しかしながら、中国経済の不透明感から8月には株価が暴落するなど今後中国を中心とした新興国経済の状況が大きな懸念材料ではないかと思えます。



千葉県経済の景況感については、リーマンショック以降東日本大震災の一時的な落ち込みを除くと緩やかに回復。全国、千葉県ともに概ね同じ動きをしています。県内の消費関連指標を見ると、小売、住宅では緩やかな回復基調が継続。自動車等の耐久消費財では苦戦が続いている状況です。

県内企業の設備投資動向では、県内255社のアンケートの結果によると、期初計画比

▲2.1%と小幅縮小したものの、前年実績比では68.7%増と設備投資意欲が旺盛であることが窺えます。製造業、非製造業ともに前年を上回る見通しです。

日本の人口はこれから急激な減少・高齢化が進捗するわけですが、「まち・ひと・しごと創生」をキーワードに活力ある社会を構築するために国全体で地方創生に向けた本格的な取組みがスタートしました。

千葉県は工業、農業、観光とバランスのとれた恵まれた地域にあり、足元の人口も増加傾向にありますが今後、大幅な減少、高齢者増加による肩車率の増加が顕著となり各市町村で魅力ある街づくりが必要不可欠です。

先日、地方創生事業に県内33件が選定されました。市原市と関連する事業では房総横断鉄道活性化連携事業が選ばれ、小湊鉄道、いすみ鉄道の沿線商店街で地用できる商品券付き共通乗車券を発売し、今後は田園風景を活用しドラマや映画のロケ誘致に乗り出すとのことです。また小湊鉄道のトロッコ列車が11月15日運行開始となるな

ど地元企業も地方創生積極的に取り組んでいます。

その他、圏央道が神崎IC～大栄ICが6月に開通、袖ヶ浦市の椎の森工業団地が1年度前倒して着工するなどインフラ整備も進んでいます。また、京葉臨海地区では3件の大型の石炭火力発電計画されており、地元経済に大きなインパクトがあることから今後進捗を注視していきたい。

●ニコニコ・ソーラー

SAA一同

先週は、SAAが全員欠席でご迷惑おかけしました。

上條会員

第2回職業奉仕委員会を高澤会員のお世話で先週無事終了しました。会長・幹事を初め関係する他委員会の皆様にも出席頂きありがとうございました。委員会開催が一番の親睦になりますね。

万崎会長・平野幹事

大木会員卓話ありがとうございます。

●出席報告

前々回確定 68.29% 本日出席者 22名
本日欠席者 19名 本日出席率 66.67%

■点鐘 市原 RC 会長 万崎英正